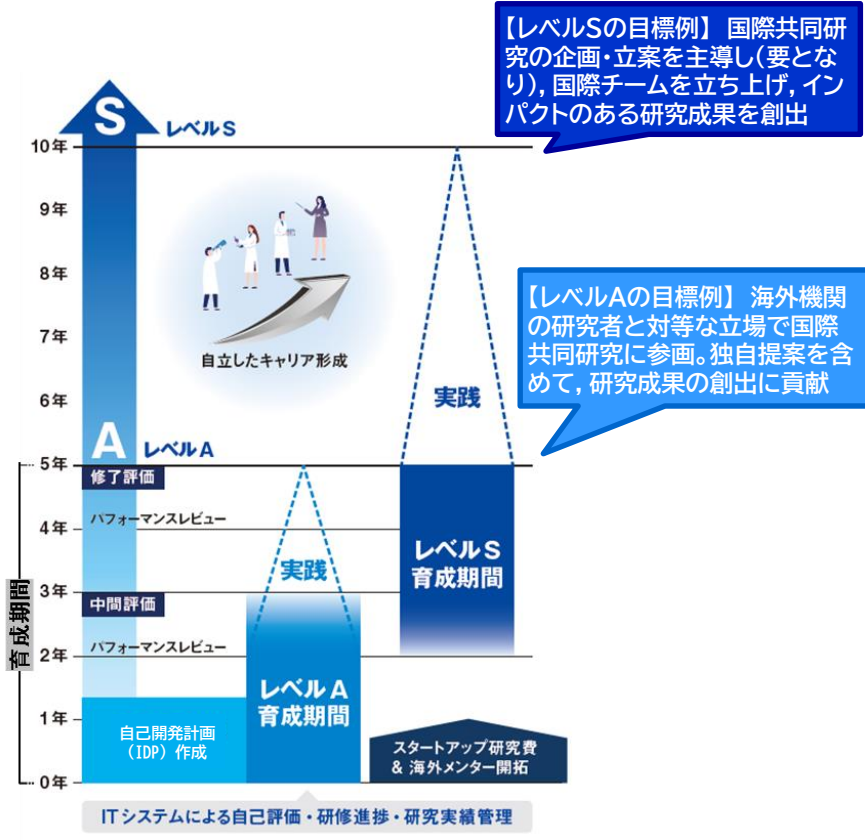


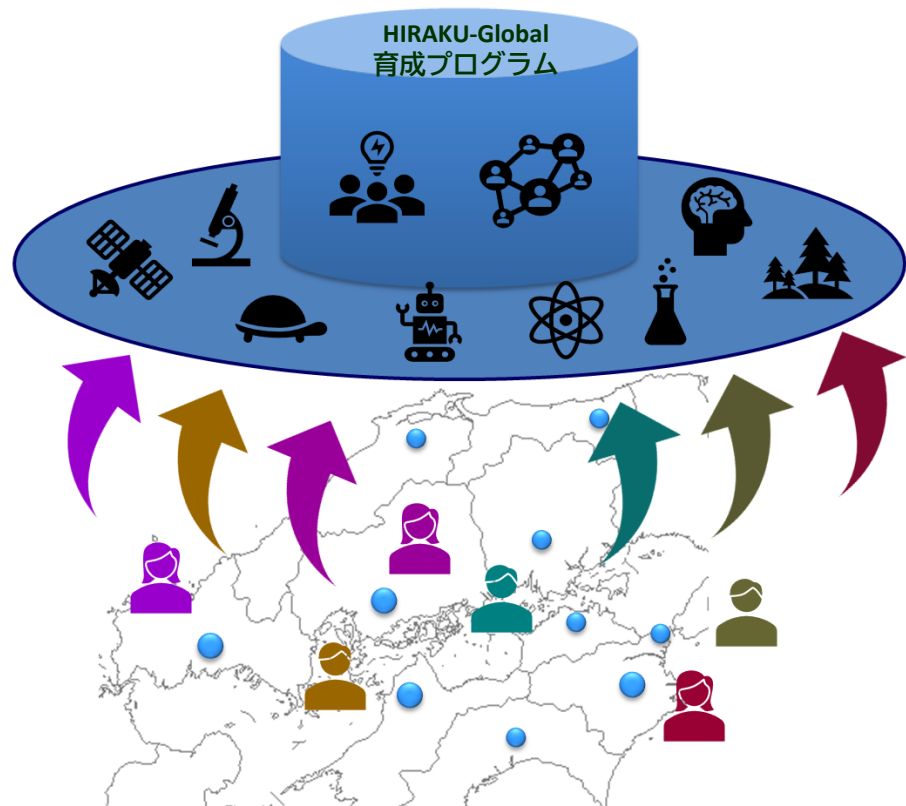
HIRAKU-Globalで育成を目指す世界でトップクラスの研究者像：  
 自分の研究室を運営し、学生を育てつつ、  
 さまざまな分野の国内外の研究者と連携し、  
 独自の研究感性を磨き、  
 世界でもユニークな研究を牽引していくことができる研究人材

海外機関との連携・協力  
 研究者育成の専門家ネットワーク  
 国際共同研究の実践をともなう能力向上

## HIRAKU-Global 育成プログラム



地方協奏による,  
 3I (Innovative, Influential, Impactful) 研究者の育成



- ・コンソーシアム内で、幅広い分野の研究者が切磋琢磨
- ・研究設備・機器の共用
- ・D生をRA/TAとして雇用  
 ⇒最先端の研究と国際的な活動を経験させることにより、  
 TT教員のさらに次の世代を育成

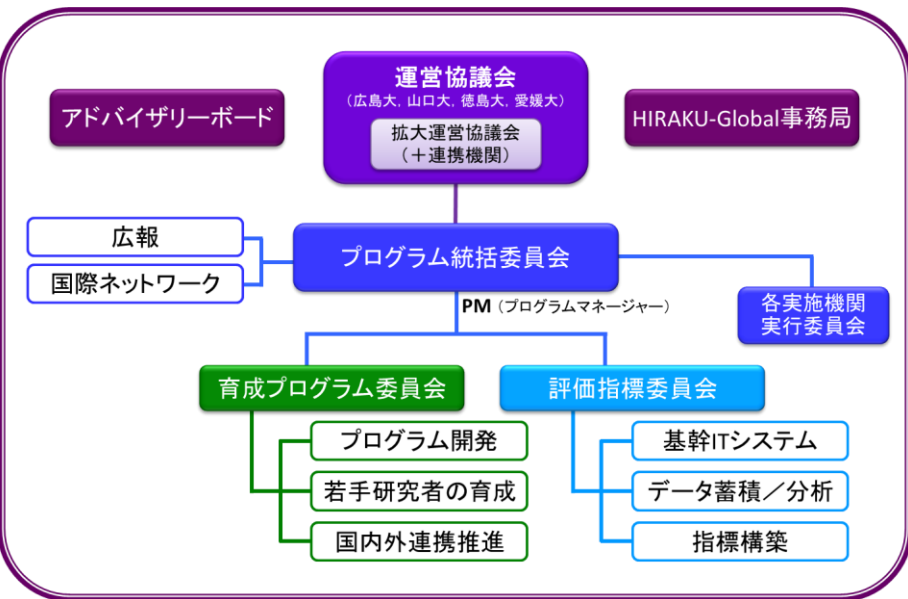
## 研究人材の評価指標の開発

育成対象者の業績データを蓄積／新指標を開発  
 修了者の追跡調査／活動や業績を継続的に把握

## 地方協奏による世界トップクラスの研究者育成 (HIRAKU-Global)

代表機関: 広島大学

共同実施機関: 山口大学, 徳島大学, 愛媛大学



### HIRAKU-Global育成対象者の選抜

#### 応募資格と募集人数

- ・博士号取得後10年以内又は同等程度の研究歴を有する者 (概ね40歳未満)
- ・広島大学, 山口大学, 徳島大学, 愛媛大学において採用後2年程度以内のテニュアトラック教員
- ・毎年度6名程度
  - 広島大学 3名
  - 山口大学 1名/徳島大学 1名/愛媛大学 1名

#### 育成対象者に求める活動

- ・スターター研修への出席とIDPの作成, 年次大会への出席
- ・国際共同研究の推進及び研究成果等の発表
- ・進捗及び修了評価に必要な資料等の提出
- ・HIRAKU-Globalの企画/運営への積極的な参画
- ・国内外に向けた積極的な情報発信

#### HIRAKU-Globalによる支援

- (1) PIとして自立して研究活動が行える環境と研究エフォート50%以上を確保
- (2) 研究スタート支援 (レベルA育成期間の最初の2年) (他の科学技術人材育成費補助事業等との重複支給なし)
- (3) 海外への中長期派遣 (レベルA育成期間の最初の3年) (海外からの招聘にも利用可)
- (4) 研究者能力開発支援
  - ・国際的な活躍を目指す研究者としてのビジョン構築
  - ・国内外の研究者との協働, 研究チームの運営, 外部資金獲得, トップジャーナルへの論文投稿等, 各人の専門性やニーズに応じて, 能力向上や国際的なビジビリティ向上を図るための各種支援
- (5) 複数メンター
  - 自己開発計画 (IDP) の進捗確認,
  - テニュア獲得やキャリア構築のための助言等
  - ・HIRAKU-Globalメンター: 専属メンターを配置
  - ・所属機関メンター: 選抜教員の各所属機関において配置
  - ・海外メンター: 選抜教員自身が独自に開拓

#### HIRAKU-Globalによる指標開発

- ・研究及び研究者の評価指標の構築
- 世界で活躍する研究者として伸びていくための指標を開発